

教授要綱

令和8年3月31日記入

科目	歯科衛生士概論	講師名	奥西千寿・木下咲子 甲斐里美
実施時期	1学年前期	実務経験	奥西; 歯科衛生士教員歴 9年臨床歴11年 木下; 臨床歴8年 甲斐; 臨床歴30年
単位数	20時間(10回)	授業形態	講義
教科書	歯科衛生学概論 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版会社	参考図書	なし
評価方法	定期試験及び出席状況により評価		
評価基準	定期試験の評価基準:A(100~90)B(89~80)C(79~70)D(69~60)E(59点以下)		
授業方針 到達目標	保健・医療・福祉に関わることの意義をみつけ、専門職として必要なことは何か、対象とする人のニーズの把握の仕方、さらに歯科衛生業務の考え方や行動の仕方を理解するとともに、倫理的な視点を持ち、かつ科学的な裏づけをもって仕事をするという意味を考えることができるようになる。		

授業計画

回	授業進度予定(講義内容)	
1	1章 歯科衛生学とは	
2	2章 歯科衛生の歴史	
3	3章 歯科衛生活動のための理論	
4	4章 歯科衛生過程	
5	1章~4章 確認テスト	
6	5章 歯科衛生法	
7	6章 歯科衛生士と医療倫理	
8	7章 歯科衛生士の活動と組織	
9	8章 海外における歯科衛生士	
10	5章~8章 確認テスト	

教授要綱

令和8年3月31日記入

科目	歯周予防処置論	講師名	力丸哲也
実施時期	1学年前期	実務経験	歯科医師歴34年
単位数	15時間(8回)	授業形態	講義
教科書	歯科予防処置論・歯科保健指導論(第2版)全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版社	参考図書	なし
評価方法	定期試験、課題・レポート及び出席状況により評価		
評価基準	定期試験の評価基準:A(100~90)B(89~80)C(79~70)D(69~60)E(59点以下)		
授業方針 到達目標	口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために、専門的な知識、技術および態度を習得する。		

授業計画

回	授業進度予定(講義内容)	
1	1章 歯科予防処置論、歯科保健指導論の概要 ・歯科予防処置、歯科保健指導の必要性 ・歯科予防処置、歯科保健指導の定義 ・歯科衛生士法における歯科予防処置 ・健康の概念	p2~p14
2	1章 口腔の基礎知識 ・口腔、口腔周囲の構造 ・歯周組織	p16~20
3	1章 口腔の基礎知識 ・歯冠と歯根の形態 ・口腔の機能	p21~p27
4	2章 う蝕と歯周病の基礎知識 ・口腔内の付着物、沈着物 ・う蝕とは	p28~p37
5	2章 う蝕と歯周病の基礎知識 ・歯周病とは	p38~p43
6	3章 歯科衛生介入としての予防処置 ・スケーリングの基本 ・デンタルミラー操作	p155~p163
7	3章 歯科衛生介入としての予防処置 ・手用スケーラー	p163~176
8	3章 歯科衛生介入としての予防処置 ・機械的スケーラー	p177~p188
9		
10		

教授要綱

令和7年3月31日記入

科目	歯周予防処置論	講師名	溝田百香
実施時期	2学年前期	実務経験	臨床歴1年
単位数	15時間(8回)	授業形態	講義
教科書	歯科予防処置論・歯科保健指導論 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版会社	参考図書	なし
評価方法	定期試験及び出席状況により評価		
評価基準	定期試験の評価基準:A(100~90)B(89~80)C(79~70)D(69~60)E(59点以下)		
授業方針 到達目標	スケーリング・ルートプレーニング:スケーラーの種類と使用目的を説明できる。 歯面清掃・歯面研磨:歯面清掃・歯面研磨の意義を説明できる、歯面清掃器材の種類と使用方法を説明できる。		

授業計画

回	授業進度予定(講義内容)	
1	3章 歯科衛生介入としての歯科予防処置 ①スケーリング・ルートプレーニングとは 1 手用スケーラー 1)構成 2)基本設定	
2	3)スケーラーの種類と操作方法 ・キュレットスケーラー	
3	②シャープニング	
4	③パワー(機械的)スケーラー (音の領域・エアスケーラー・使用時の注意事項)	
5	超音波スケーラーの操作方法・臨床における注意事項	
6	超音波スケーラーの操作方法・使用後の滅菌、消毒、メンテナンス	
7	③歯面研磨(目的・種類・歯面研磨剤・使用器材と操作方法・臨床における注意事項・注意を要する症例)	
8	・歯面清掃器(エアポリッシャー・サブソニックブラシシステム)	
9		
10		

教授要綱

令和8年3月31日記入

科目	歯科保健指導論	講師名	奥西千寿・溝田百香・師岡沙矢
実施時期	2学年前期	実務経験	奥西; 歯科衛生士教員歴9年臨床歴11年 溝田; 臨床歴1年、師岡: 臨床歴11年
単位数	30時間(15回)	授業形態	講義
教科書	歯科予防処置論・歯科保健指導論 全国歯科衛生士教育連絡協議会 医歯薬出版会社	参考図書	なし
評価方法	定期試験(80%)授業態度、レポート(10%)及び出席状況により評価		
評価基準	定期試験の評価基準:A(100~90)B(89~80)C(79~70)D(69~60)E(59点以下)		
授業方針到達目標	健康と疾病の概念を理解し、歯と口腔の健康維持増進のため知識・技術・態度を習得する。 ・保健指導の定義と特性を理解する。 ・医療面接を理解し歯科衛生実践の動機付け面接ができる。 ・口腔衛生管理のための歯科衛生介入計画を立案する。 ・口腔保健と生活習慣の関係を理解し、問題点と改善に向けた指導ができる。		

授業計画

回	授業進度予定(講義内容)
1	食生活指導のための基礎知識
2	歯科衛生アセスメントとしての情報収集・情報処理 主観的情報の把握・医療面接
3	保健行動支援のための基礎知識 歯科衛生アセスメントとしての情報収集・情報処理 主観的情報の把握・医療面接
4	口腔機能の評価・分析のためのデータ (口腔衛生状態の指数・歯周疾患の指数・う蝕の指標)
5	歯科衛生介入としての歯科保健指導 歯ブラシ・デンタルフロス・歯間ブラシ
6	歯科衛生介入としての歯科保健指導 タフトブラシ・粘膜ブラシ・スポンジブラシ・舌ブラシ・義歯用ブラシ・口腔ケア用具
7	歯科衛生介入としての歯科保健指導 歯磨剤・洗口剤・保湿剤
8	口腔機能・摂食嚥下の仕組み ・口腔機能に関わる指導 ・口腔機能低下症 ・生活習慣の指導(NCDs) ・喫煙者に対する指導・ストレスマネジメント
9	〈対象者別の歯科衛生介入〉 ライフステージに対応した歯科衛生介入(妊産婦)
10	〈対象者別の歯科衛生介入〉 ライフステージに対応した歯科衛生介入(乳児)
11	〈対象者別の歯科衛生介入〉 ライフステージに対応した歯科衛生介入(幼児期)

教授要綱

令和8年3月31日記入

科目	歯科診療補助実習	講師名	今村レイナ・カ丸哲也 木下咲子・師岡沙矢
実施時期	1学年後期	実務経験	今村;臨床歴11年、木下; 臨床歴8年、師岡;臨床歴 11年 カ丸;歯科医師歴34年
単位数	30時間(15回)	授業形態	実習
教科書	歯科診療補助論 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版会社 歯科材料 歯科機器	参考図書	なし
評価方法	定期試験及び提出物、授業態度、出席状況により評価		
評価基準	定期試験の評価基準:A(100~90)B(89~80)C(79~70)D(69~60)E(59点以下)		
授業方針 到達目標	感染対策および器具の滅菌・消毒を理解し、歯科診療で使用する材料や器具の取扱いを習得し共同動作を円滑に行うことができる。		

授業計画

回	授業進度予定(講義内容)	
1	実習時の正しい身だしなみ 感染予防対策実習(グローブ・マスク・エプロンの着脱実習)	
2	手指衛生(ブラックライトを用いた手指衛生実習) アクティブラーニング(グループワーク)	
3	診療室オリエンテーション 診療室 設備の名称、操作	
4	共同動作マネキン実習(ポジショニング・ライティング)ユニット操作等	
5	共同動作マネキン実習(ポジショニング・ライティング)ユニット操作等	
6	衛生材料作成(綿球・綿栓・コットンロール等)	
7	共同動作マネキン実習(フォーハンデッドデンティストリー) バキューム・スリーウェイシリンジ	
8	共同動作マネキン実習(フォーハンデッドデンティストリー) バキューム・スリーウェイシリンジ	
9	ファントム実習 ファントムの取り付け方 印象採得実習 (アルジネート印象材練和)	
10	ファントム実習 印象採得実習(印象の準備・片顎練和)	
11	ファントム実習 印象採得実習(印象の準備・片顎練和・トレーの盛り上げ→印象採得)	
12	アルジネート印象採得 実技テスト	
13	ファントム実習 印象採得(上顎全顎練和、トレーへの盛り上げ→印象まで)	
14	ファントム実習 印象採得実習(下顎全顎練和、トレーへの盛り上げ→印象まで)	
15	ファントム実習 印象採得から石膏注入	

教授要綱

令和8年3月31日記入

科目	歯科診療補助実習	講師名	溝田百香・今村レイナ・師岡沙矢・木下咲子・力丸哲也・吉田恭三郎
実施時期	2学年前期後期	実務経験	溝田:臨床歴1年、師岡;臨床歴11年、今村;臨床歴11年、木下;臨床歴8年、力丸;歯科医師歴34年、吉田;歯科医師歴37年
単位数	60時間(30回)	授業形態	実習
教科書	歯科診療補助総論 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 会社 歯科材料 歯科機器	参考図書	なし
評価方法	実習態度及び提出物、授業態度、出席状況により評価		
評価基準	定期試験の評価基準:A(100~90)B(89~80)C(79~70)D(69~60)E(59点以下)		
授業方針 到達目標	模型作成のための材料(印象材、石膏等)について学び、研究用模型の作成(相互)を行う。また臨床で使用材料について用途、取り扱いを理解する。チェアサイドで行う歯科診療補助について理解、実践		

授業計画

回	授業進度予定(講義内容)	
1	口腔内撮影について カメラの使い方 撮影方法	
2	模型用材料 実習 量が多い場合の印象練和 トレー試適、全額印象採得(下顎)	
3	模型用材料 実習 トレー試適、全額印象採得(上顎)	
4	合着・接着材・仮着用材料の種類と基本性質について/練和・取扱い	
5	口腔内撮影 ファントム実習 口角鉤の使い方 5枚法撮影	
6	口腔内撮影 ファントム実習 口角鉤の使い方 5枚法撮影	
7	相互実習(下顎全顎)	
8	相互実習(下顎全顎)	
9	相互実習 (上顎全顎)	
10	相互実習 (上顎全顎)	
11	ファントム実習(寒天+アルジネート印象材)2級窩洞	
12	ファントム実習(寒天+アルジネート印象材)2級窩洞	
13	模型用材料 相互実習 スタディモデルの作成	

教授要綱

令和8年3月31日記入

科目	歯科診療補助実習	講師名	奥西千寿・力丸哲也・今村レイナ
実施時期	3学年後期	実務経験	奥西; 歯科衛生士教員歴9年 臨床歴11年 力丸; 歯科医師歴34年、今村; 臨床歴11年
単位数	60時間(30回)	授業形態	実習
教科書	歯科診療補助総論 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版会社 歯科材料 歯科機器	参考図書	なし
評価方法	定期試験、提出物及び実習態度及び出席状況により評価		
評価基準	定期試験の評価基準:A(100~90)B(89~80)C(79~70)D(69~60)E(59点以下)		
授業方針 到達目標	近々の国家試験過去問題を中心に解法のポイントを解説する。		

授業計画

回	授業進度予定(講義内容)	
1	・歯科診療の補助 情報収集 モニター検査の結果読み取り	
2	・患者への対応 全身疾患、高齢者、妊産婦等の対応	
3	国家試験及び模擬試験過去問を編集したプリントを解かせ、解説する。	
4	・消毒・滅菌・洗浄について	
5	国家試験及び模擬試験過去問を編集したプリントを解かせ、解説する。	
6	主要歯科材料の種類、取扱い	
7	国家試験及び模擬試験過去問を編集したプリントを解かせ、解説する。	
8	・ラバーダム防湿について 試験過去問を編集したプリントを解かせ、解説する。	模型実習
9	・印象用材料について	相互実習
10	・印象用材料について	相互実習
11	・印象用材料について 試験過去問を編集したプリントを解かせ、解説する。	
12	・保存修復について	直接修復、関節修復
13	試験過去問を編集したプリントを解かせ、解説する。	
14	・歯内療法時の補助について	
15	国家試験及び模擬試験過去問を編集したプリントを解かせ、解説する。	
16	・補綴治療時の補助について	